

第84回 海沢園地から大岳山ハイキング

第5支部 東邦化成株式会社 礮部 進
平成29年10月8日(日)曇り

曇り空の中、新宿よりホリデー快速おくたま1号に乗り込み、大混雑のJR奥多摩駅に降り立ちました。

今回は石井氏、大井氏、大河原氏、原夫人、山本前事務局長、私礮部の6名が参加しました。大岳山は平成12年4月2日ハイキング同好会の第3回と昨年10月30日の第79回目に行っており、今回で3回目となります。

当初は奥多摩駅から車道を歩き、海沢の林道、海沢探勝路経由で大岳山に登る長いルートを用意しておりましたが、参加者が大幅に減りそうな為、9月の理事会において、探勝路入口までのタクシー利用に変更しました。

前日に若林氏より、山車の修復の打合せがあるのを忘れていたと、欠席の電話があり、「5人で2台のタクシーかよ(怒)」と思っていたところ、私が大河原さんの参加を忘れていたので、丁度良く、7名乗りのタクシー1台に乗り込むことができました。

通常なら1時間半程の行程が15分に短縮され、余裕のスタートとなりました。園地入口のトイレで用を済ませ、先ずは10分で三つ釜の滝に到着、次にネジレの滝がありますが、遠回りになりますので、今回はパスして、海沢大滝を目指します。程なく滝への分岐に到着、山本氏が荷物番をして下さり、荷物を置いて大滝までピストンです。涼しくなったところで、本道に戻り、最後の山葵田を越すと、いよいよ大岳山(1,267m)への直登が始まります。

50分で大岳山へ1.4kmの標識、更に30分で枝尾根に到着。この頃から私の膝が痛み出してしまい、更に30分も掛かって鋸尾根に到着しました。山頂直下なので、皆には先に行ってください、追いかけることとなりました。山頂に全員が到着し大休止に入ったのは12時50分になってしまいました。石井さんの缶ビールをいただき、いつもの紅茶を入れ、約40分休憩してから13時35分に下山を始めました。

下山では膝が更に痛く、大岳山荘下で皆には蕎麦屋に直行して貰うよう頼み、追いかけることにしました。ちょっと先に大河原氏と大井氏が待っていてくれるではありませんか。どうぞ先に行ってくださいと声を掛けたら、大河原氏の足が吊って動けないとの事。吊り止めの漢方薬を渡し、一緒に下ることとなりました。暫く行くと、今度は私の足が吊り出しました。膝の痛みと吊りの痛みでよれよれになりながら、2時間50分近く掛かって、16時25分にケーブル駅に到着。バスを乗り継いで御嶽の打上げ会場の「玉川屋」に

揃ったのは17時でした。足痛組が遅れたため、宴会のみ参加の原氏は待ちくたびれた様子、早速ビールで乾杯し、もつの煮込み、山菜のおひたし、てんぷらをつまみに、そば焼酎をそば湯割で軽くいただいた後、仕上げのお蕎麦を食べ、何時に無く遅い打上げを程々で切り上げて、各駅停車に乗り込み、更に青梅で東京駅直通の快速に乗り込み、無事に三々五々帰って行きました。皆様、お疲れ様でした。

今回はタクシーを使っていなかったらと思うと反省しきりであります。次回からは、身の丈に合ったコースを設定するように致します。